

## 臨床工学科

臨床工学科には2022年現在、臨床工学技士9名が所属しており、医療機器の安全確保と有効性維持の担い手としてチーム医療に貢献すべく活動しております。

「臨床工学技士」は高度化する医療機器の専門家として1987年に制定された、医学と工学の知識を兼ね備える国家資格で、医療機器の点検・操作および関連教育を主たる職掌としております。具体的には医師の指示の下、代謝・循環・呼吸療法に関する生命維持管理装置の着脱・設定・操作を行い、また各機器について使用中を含めた定期的な点検を行っております。

### 【代表的な業務内容】

#### 〈血液浄化療法業務〉

##### 血液透析

透析監視装置の操作・保守・点検

透析液作製装置、水処理装置の保守・点検

透析液水質管理（生菌測定・エンドトキシン測定・ETRF交換・残留塩素測定・軟水試験）

##### 特殊血液浄化療法

持続的血液透析濾過（CHDF）

血漿交換療法（PE）

顆粒球除去療法（GCAP）

腹水濾過濃縮再静注法（CART）

$\beta$ 2ミクログロブリン吸着療法

LDL吸着療法

エンドトキシン吸着療法 等

##### 透析患者のバスキュラーアクセス管理

シャントエコー検査

経皮的血管拡張術（PTA）の補助業務

##### 病棟透析

前年度よりCOVID-19陽性患者の対応として、専用病棟にて透析治療が行えるように病院設備、透析機器を整備し、引き続き運用中。今後は感染患者以外の病棟透析治療にも対応できるよう、運用を検討。

#### ＝特殊浄化療法 R4年度実績＝

持続的血液透析濾過（CHDF） 18症例（46回）

腹水濾過濃縮静注法（CART） 6症例（44回）

LDL吸着療法 1症例（1回）

エンドトキシン吸着療法 3症例（6回、CHDF併用）

#### ＝バスキュラーアクセス管理＝

シャントエコー検査 221件

経皮的血管拡張術（PTA）の補助業務 96件

#### 〈心臓カテーテル業務〉

毎週 月曜日午後、木曜日午前・午後

〈ペースメーカー業務〉

植込み時の立ち会い

ペースメーカー外来 毎月 第3・4週金曜日午前 → 毎週金曜日へ拡充予定

〈呼吸療法業務〉

人工呼吸器の管理、使用毎に次回使用時に備えて呼吸回路の取り付けと使用后点検

医師の指示による動作条件の設定・操作。不具合時の対応

〈手術室業務〉

麻酔器、生体情報モニターの日常点検

電気メスの定期点検

内視鏡手術装置の日常点検および手術立会い、トラブル対応

〈医療機器管理業務〉

院内では多種多様な医療機器を用いて治療を行っており、各機器についてそれぞれ使用時に備え常に点検・整備を行っております。

＝現在取り扱っている医療機器の種類と台数＝

人工呼吸器	24台
成人用人工呼吸器	12台
新生児・小児用人工呼吸器	2台
搬送用人工呼吸器	3台
NPPV用人工呼吸器	7台
保育器	9台
閉鎖式保育器	6台
開放式保育器	3台
移動式保育器	1台
麻酔器	6台
除細動器	4台
自動体外式除細動器 (AED)	9台
大動脈バルーンポンピング	1台
透析監視装置	53台
個人用透析水処理装置	1台
RO装置	1台
透析液A溶解装置	2台
透析液B溶解装置	2台
透析液供給装置	1台
持続的血液浄化装置	1台
ベッドサイドモニター	63台
送信機	49台
輸液ポンプ	64台
シリンジポンプ	73台

高流量可能輸液ポンプ	8台
経腸ポンプ	1台

〈医療機器取り扱い研修会 院内講師〉

透析、輸液・シリンジポンプ、呼吸器、除細動器など研修会の講師を務めています。

新規導入時は必ず実施し、既存の医療機器についても随時行っています。

毎年定期的に行われている新人看護師研修の講師も務めています。

文責：臨床工学技師長職務代行 小林 雄一